

事業計画書

第 I 期（平成 28 年 8 月 1 日～平成 29 年 7 月 31 日）

一般社団法人ハビリスジャパン

事業計画書

方針

本法人の目的を達成するために、関係省庁ならびに関係諸団体と連携をとりつつ、定められた関係機関の議を経て、次の通り実施する。

I 活動方針

1. 障害のある子どもたちの可能性を広げ、子どもたちの社会参加を通して成長を支える支援を行う。
2. 関係省庁および関係諸団体と連携をとり次の事業を実施する。

II 主な事業

1. 障害のある子どもたちの社会参加の支援事業

障害のある子どもたちが、より良い社会生活を送るための機会創出を目的とするイベントを開催する。

1. 1 ハビリスキッズプロジェクト第1回東京

障害のある子どもたち、保護者、研究者、教員などを対象とする体育イベントを開催する。

日時：2016年10月10日

場所：帝京科学大学千住キャンパス体育館

内容：障害のある子どもたちのための体育教室、保護者交流会など

※詳細は別紙参照。

2. リハビリテーション・ハビリテーションの教育・啓蒙事業

教育・啓蒙活動のための情報発信をインターネット、マスメディアを中心に行う。

2. 1 教育セミナー開催

教育セミナーを実施し、研究者・教育者ならびに保護者の知識を高める。

2. 2 専用サイト構築

イベントで得られた知見や専門部会委員が研究した成果などを、専用サイトを通じて広く発信することにより、教育・啓蒙活動を行う。

専用サイトアドレス（<http://habilisjapan.wixsite.com/habilisjapan>）

2. 3 ソーシャルネットワーキングサービス（SNS）の専用アカウントによる情報発信

Twitter、Facebook ならびに Youtube の専用アカウントを取得し、イベントで得られた情報を発信することにより、専用サイトへの誘引を行う。

2. 4 マスメディアを通じた情報発信

イベント実施時などにマスメディアに対してニュースリリースを行い、取材対応をすることによって、本法人の目的を広く情報発信する。

3. 小児用アクティビティ・日常生活用義肢等の開発・調査研究事業

日本製の小児用アクティビティ・日常生活用義肢等の開発を行うための基礎的調査を行うとともに、製造事業者らと連携することで製品の市場導入を支援する。

3. 1 イベントを通じたニーズ把握

障害のある子どもたちが参加するイベントに研究者が参加することによって得られる知識を専用サイトに蓄積する。

4. 小児用アクティビティ・日常生活用義肢等のレンタル事業

当年度として、小児用の跳び箱用義手を購入して、貸与を行う。貸与を行うことにより、利用者の主観的、客観的評価を行い、それらの知識を専用サイトに蓄積する。本年度は 15 万円相当の義手部品 14 本の購入を目標とする。その後、貸与する義肢については順次拡大することとし、今後の対象の検討を進める。

5. その他、当法人の目的を達成するために必要な事業

5. 1 会員、寄付者、提携サポーターの募集活動

本法人の目的を広く認知していただくために、会員、寄付者、提携サポーターの募集を行い、本法人の長期的な運営資金を確保する。

5. 2 ネットワーク体制の構築

全国の医療機関、義肢装具製作会社、義肢部品製造・販売会社、自治体、マスメディアならびに障害者スポーツ協会などの各種団体との連携を行う。

5. 3 物販の企画

本法人の目的を広く認知していただくために、書籍やグッズなどの販売を行うための商品企画を行う。